

# 5月の果実の見通し

令和3年4月30日現在  
山形県東京事務所

品目	区分 主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
いちご類	栃木 福岡 静岡 佐賀 など	3031	95%	2652	941	安い	902	-	-	九州・関東産ともに5月上旬までは潤沢に出回るが、15日以降急激な減少となる見込み、東北産も中旬にはピークを迎える。GW中の出荷は、田植え作業とも重なるため、不安定な出荷となりそうである。
おうとう	山形 など	121	110%	150	2921	並み ～ 安い	2857	44	36.4%	ハウス物がメインとなり、4月から気温も高いため、前進傾向の見込み。山形・長野産ともに生育は順調であり、5月第2日曜日「母の日」の需要へ向けて増加傾向。露地物の「紅さやか」は好天が継続すると5月末頃から出荷開始の可能性あり。
すいか類	熊本 千葉 茨城 など	5942	105%	6655	279	並み	286	-	-	【大玉】熊本産は生育前倒しで4月中・下旬はピークとなり、5月に入り昨年より出荷数量減少の予定。千葉産は5月から入り始め、5月20日頃からピークに入る。 【小玉】熊本産は4月中旬にピークとなりその後減少し、5月中旬頃から「ひとりじめボンボン」が入り始める、茨城産は1週間の前倒し出荷が続いている。4月中旬の低温の影響で、4月下旬に伸び悩むが、月末に出荷増の見込み。5月に入ると量も出揃ってくる。GWの注文も多い見通し。その後も気温の上昇に伴い、荷動きが良くなる見込み。群馬産の生育は1週間ほど前進傾向にあり、4月下旬に1番果の出荷ピークに入る。2番果も続く予想から5月の出回りは潤沢となる。
メロン類	茨城 熊本 静岡 など	3080	105%	3338	477	並み	509	0	0.0%	【アールスメロン】静岡産は5月連休に出荷量は多くなり熊本産は中旬以降増量となる。 【アンデスメロン】熊本産は4月中旬から増量となり、5月は出荷ピークが過ぎ、茨城産が5月から出荷ピークに入る。 【クインシー】5月上旬に熊本産が出荷ピークとなり、中旬からは茨城産が主力となる。両県とも生育は順調。
マンゴー	宮崎 など	110	105%	117	3101	高い ～ 並み	3296	-	-	天候に恵まれ生育は順調。宮崎産は5月に入り下旬に向かって増量期を迎える。外観等も非常に良く「太陽のタマゴ」比率も上がってる。中心サイズは2L>4L>3L。5月は全体の出荷量の25%。6月は全体の35%でピークを迎える。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果株)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)